

## 5 議事概要

(1) 事務局で検討した対策案の内容について、報告を行いました。

(2) 報告内容について、委員から以下の意見をいただきました。

○流れ盤(※1)になっている箇所を検討した際に用いた材料の物性(強度等)について、既存の調査結果も含め、どのような位置付けにあるか整理すること。

○施工に当たっては、打設継目の位置・方法やダウエルバー(※2)等の設置も検討すること。

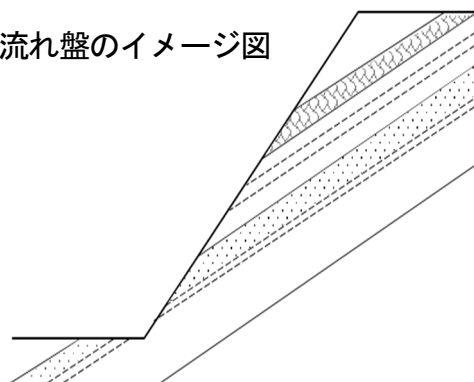
○コンクリートの打設については、気象条件等も踏まえ、内部拘束(※3)・外部拘束(※4)を考慮するとともに、打設スケジュールを精査し、工事の実施時にもスケジュールどおり施工されるよう注意すること。

○コンソリデーショングラウチング(※5)の目的を整理し、注入圧力に注意すること。

○動態観測は年間を通じたデータについてダム貯水位と共に整理すること。

<以下、参考>

※1 流れ盤のイメージ図



(斜面側に地層が傾斜している状態)

※2 ダウエルバー：地盤の不同沈下等によるズレを防止するためにコンクリート構造物の継目に設置する鉄筋等から構成される装置。

※3 内部拘束：コンクリートが固まる時の表面と内部の温度差により生じるひび割れの原因のこと。

※4 外部拘束：コンクリートが固まる時の体積変化に合わせて、接する基礎地盤等で拘束されることにより生じるひび割れの原因のこと。

※5 コンソリデーショングラウチング：遮水性の改良等を目的にセメントを主材料とした流体を地盤に注入すること。